

# EA942A・B・A-1・B-1・AA-1-4

## 耐熱塗料スプレー

用途 暖房器具、焼却炉、煙突、加熱部品

内容量 300ml

標準塗布面積 1.5～2.0m<sup>2</sup>

乾燥時間 常温24時間以上

品番	仕様	耐熱( )	色
EA942A	つや消し	650	黒
EA942B			銀
EA942B-1	半つや	500	黒
EA942A-1			銀
EA942AA-1	つや有	200	黒
EA942AA-2			銀
EA942AA-3			金
EA942AA-4			クリアー



### 使用方法

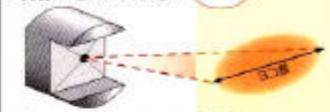
- ①塗装面が熱い時には塗装しないでください。
- ②塗装表面の汚れ、油分、錆等をよく取り除いてください。
- ③塗料が付いては困る部分はあらかじめ新聞紙・マスキングテープでおおってください。
- ④使用前にはスプレー缶の中に入っているビー玉の音が聞こえるまで容器をよく振ってください。スプレーの合間にも振ってください。
- ⑤この塗料はだ円形に噴射します。噴射口を回転させ、塗りやすい方向に変えることができます。まず、目立たない部分で試し塗りをして色、噴射の状態、乾燥性、下地への影響、密着性などをよく調べて、異常がないことを確かめてから塗装してください。(表示の色は実際の色と多少異なることがあります。)
- ⑥ノズル位置を塗装面から30～40cm位離して吹き付けてください。一度に厚塗りをしないで塗る面と平行に移動しながら、ややゆすめに塗装していただくほうが効果があります。(膜厚:10～20μm)
- ⑦気温が下がると塗料の出方が悪くなります。その時はぬるま湯(30℃程度)に3～5分つけてから使用してください。
- ⑧塗り面積、乾燥時間は、色、素材、形状、塗り方、気象条件の違いにより多少異なります。
- ⑨塗装後すぐに加熱すると塗膜がふくれたりすることがありますので、常温で24時間以上放置後、稼働するようにしてください。
- ⑩常温乾燥後の塗膜は指触乾燥程度で完全硬化には至っていません。稼働により一時的に粘着性を帯び発煙しますがやがて煙は止まり塗膜は硬化します。(180℃程度の熱が20～30分以上かからないと完全硬化には至りません。)

### 〈用具のお手入れ方法〉

使用後は容器を逆さにして液がでなくなるまで空吹きし、ノズル穴を布などで拭いてからフタをしてください。(もし、ノズル穴が詰まった場合はシンナーで洗浄してください)

### ⑤噴射口の向きについて

パターンをヨコ長のだ円にしたい場合、噴射口をタテにする



パターンをタテ長のだ円にしたい場合、噴射口をヨコにする



使用後は、さかさ吹きすること



### 取り扱い上の注意

- ①表示以外の用途や耐熱温度以上の場所には使用しないでください。
- ②天気の良い、湿度の低い日に塗装してください。
- ③火気のある所や、燃焼中のストーブなどには吹き付けしないでください。
- ④食器など食品に直接触れるものには塗装しないでください。
- ⑤缶を逆にした状態では使用できません。
- ⑥有機溶剤が含まれていますので塗装中、乾燥中とも換気を良くし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- ⑦取り扱い中は必要に応じてマスクや手袋を着用してできるだけ皮膚に触れないようにしてください。
- ⑧取り扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- ⑨廃棄する際は押しボタンを押して中のガスを十分に抜き、他のゴミとはっきり区別して廃棄してください。
- ⑩やむを得ず中身の塗料を捨てるときは、火気のない屋外で新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般のゴミとして処分してください。

### 保管上の注意

- ①子供の手の届かないところに保管してください。
- ②中身が漏れたり破裂する危険がありますので、湿った場所など錆びやすい所や、直射日光の当たる所、自動車内、暖房器具の周辺等の温度が高くなる所には置かないで冷暗所へ正立保管してください。
- ③開封後はなるべく早期にご使用ください。

### 救急処置

- ①皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診察を受けてください。
  - ②目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
  - ③蒸気・ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
  - ④火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。